

Title	私の本棚
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学理工学部
Publication year	2016
Jtitle	新版 窮理図解 No.22 (2016. 8) ,p.7- 7
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000022-0007

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

私の 本棚

My favorite books



● **Urban Operations Research** 大学院時代に出会った本です。オペレーションズ・リサーチの幅広い分野で卓越した業績を挙げた2人の著者による教科書です。都市や地域の問題に、数理モデルを構築して切り込んでいく面白さが十分に味わえます。特に、待ち行列モデルをはじめとする様々な確率モデルを空間的な状況設定において展開している部分は、オリジナリティが高く大変迫力があります。この本が最初に出版されたのは1981年ですが、その魅力とインパクトは35年経ったいまでも全く変わりません。

● **Network and Discrete Location** 施設配置問題に関する専門書や教科書は、海外ではかなりの数が出版されています。そのなかで、最も気に入っているのが本書です。著者はこの分野をリードする世界的な研究者ですが、教科書を書くセンスも抜群であり、数理モデル化のプロセスにも重点を置いた記述スタイルは本書の大きな特徴です。英語もとても読み易く、施設配置モデルを勉強する最初の本としてお勧めです。

● **The Structure of Scientific Revolutions, 物理学と神** 人類が、太古の昔から現在に至るまで、身の回りの世界をどのように認識してきたのか、また世界観の変革を迫るような出来事がどのようにして起こったのか、というテーマは大変興味深い話題です。最初の本は、科学の発展が直線的なものではなく、パラダイムの変革を迫る「科学革命」が大きな役割を演じてきたことを様々な実例とともに示しています。「物理学と神」は、物理学の進展を、神の姿の変容という視点から捉えたユニークで読み易い本です。身の回りの世界を、数理モデルで表現しようとする私にとって、こうした問題に思いを馳せるのは楽しいだけでなく、研究活動の一部と言えるかもしれません。

● **世界のクワガタムシ、きらめく甲虫** 硬い体をもつ甲虫は、昆虫のなかでも特に種類が多く、とても魅力的な存在です。気の遠くなるような長い年月をかけて獲得された彼らの個性あふれる姿を、この2冊は、美しく迫力のある写真で紹介しています。小学2年生の息子も夏休みの旅行先で出会う昆虫を楽しみにしています。

● **線型代数入門** 今年で出版から50年になる線型代数の名著です。私が大学教員になったのは2005年の4月ですが、初めて担当した「数学演習」という科目の参考書に指定されていたもので、授業の準備のために読んだ本としては第一号です。論理展開は非常に明快で、いくつかの準備を経て美しい定理が証明される様は見事です。ややレベルの高い部分もありますが、理工系のあらゆる分野の学生にお勧めの一冊です。

● **最大値と最小値の数学** 慶應義塾大学に異動して、研究室の学生と一緒に、輪講のテキストとして読んだ最初の本です。最適化問題が数学や物理学や工学の分野でどのように用いられてきたかを、数千年前にさかのぼり、現代に至るまで時代を追って紹介した好著です。フェルマー、デカルト、ニュートン、オイラー、ラグランジュなど、偉大な物理学者・数学者が取り組んだ歴史上の重要な問題も多数紹介されています。こちらは訳書ですが、原著者は数多くの魅力的な本を執筆しており、この本をきっかけにファンになりました。